



重長 英司 議員

江田島市観光振興計画について

答 観光戦略チーム「一步」を構築し、観光振興をはかる

重長 総観光客数を平成36年に100万人と設定しているが、そこに至るまでの行程は。

市長 観光戦略チーム「一步」をつくり効果的・効率的なプランを作成し平成36年には100万人の目標を目指しています。

重長 総観光客数が平成17年をピークに減少傾向にある原因は。

市長 平成17年4月に呉市に大和ミュージアムが開館し、そのことから本市の第1術科学校の教育参考館の来訪者も一時的に増加したことが最大の原因と考えています。

重長 観光振興の理念と

して、観光振興のエンジン回転させ、交流人口100万人を目指すための具休策は。

市長 江田島市観光振興計画では、3つの観光振興の理念を掲げております。

一つ目は、観光の目的地となる集客拠点施設の整備や、多様な情報を発信することによる来訪のきっかけづくりです。

二つ目は、観光を産業として育成することによる、観光消費額や雇用の増加に向けた観光関連産業づくりです。

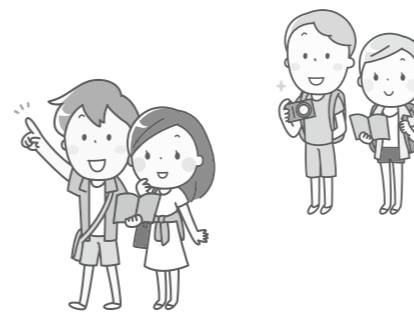
三つ目は、江田島ファンや新たな観光の担い手を増やす担い手・縁づくりです。これらの理念を実現す

るため、官民を挙げて一体的な観光振興体制、「一步」を構築し、効果的、そして効率的な観光振興をはかっていくことを観光のエンジンを回転させると表現しています。

重長 策定委員会のメンバーに体育協会関係者が入っていないのはなぜか。

市長 江田島市観光振興計画の策定に当たりましては、県立広島大学の地域連携センター長を委員長とし、策定検討委員会を設置いたしました。委員会の委員には体育協会関係者は入っていません。しかしながら、具体的な検討を行う幹事会には、江田島市スポーツ推進委員協議会会長、江田島市

文化財保護委員会、農業・漁業関係者など幅広い分野から、ご意見をいただき、ご尽力を賜っているところです。



行政視察報告

下松市消防本部

平成30年10月17日

総務常任委員会は、調査研究のため行政視察を行いました。

【視察場所】
山口県下松市消防本部
【内容】
「高機能消防指令センターについて」
下松市での高機能消防



指令センターの導入の経緯や導入効果などの説明を受け、質疑応答・意見交換を行いました。

来訪

新潟県南魚沼市議会

平成30年11月14日

新潟県南魚沼市議会の未来創政会4名が、「江田島市の移住定住政策」についての視察に来られました。

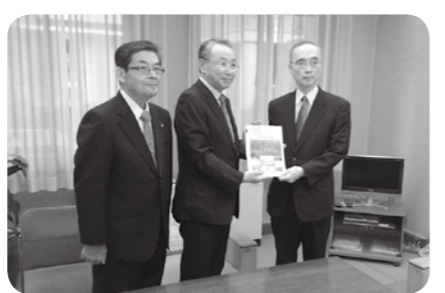


担当課から空き家バンク制度・おためし暮らし

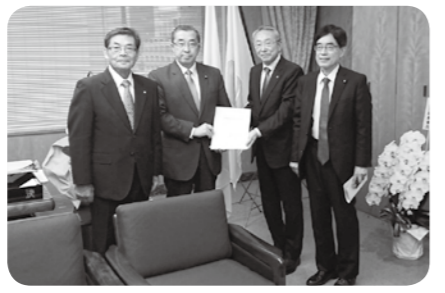
特別交付税要望を行いました

平成30年11月19日

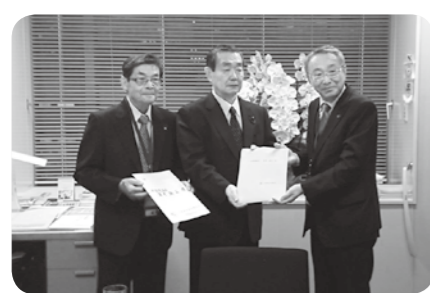
平成30年7月豪雨を受け、被災者の早期生活再建や、交通網の早期復旧をはかるため、林議長は明岳市長とともに上京し、特別交付税の更なる増額を求め、国に対する要望活動を行いました。



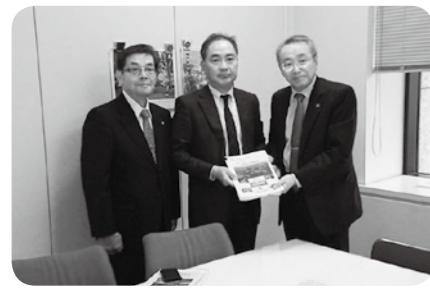
▲財務省 太田主計局長



▲総務省 鈴木副大臣・寺田衆議院議員



▲溝手参議院議員



▲総務省 多田大臣官房審議官



花野 伸二 議員

答 災害の状況に合わせて対応します

災害対応について

花野 市は7月豪雨災害において、民有地の土砂撤去作業は行わないと表明していたが、災害の規模が甚大なため、民有地の土砂撤去作業を行うと方針を変えられた。今後また起こりうる災害時にも同じ対応をしていたのか。

市長 今回は激甚災害と指定されましたので撤去を行うことになりました。今後激甚災害の指定が行われましたら、同様に行います。

花野 激甚災害なら市が撤去するがそうでない場合はしないとなると、高齢化率が上位の江田島市では大変な事ではないのか。

土木建築部長 災害の状況に合わせて対応致します。

花野 広島県が今回の災害において直接被害が多かった場所に砂防えん堤を作ることにしているが、今回は家屋に被害が少ない場所も危険な状態の所があるので再度検証・検討をお願いします。

土木建築部長 不安をお持ちの方は申し出ていただけましたら検証に伺います。

花野 各地域に消防団・自主防災・防災リーダー等があるが役割分担は。

市長 消防団は火災における消火活動をはじめ、

あらゆる災害時の救助活動を主にしています。自主防災は災害に備えるために、各地域の自治会が防災意識の普及を地域の住民の皆さまへ持っていた

だくことが主だった活動です。防災リーダーはこの自主防災での活動がスムーズに行くために育成している方々です。

花野 7月豪雨災害を受け、ハザードマップを変更する予定はあるか。

危機管理監 危険箇所の訂正など変更する予定です。

花野 避難場所等は地元の見取りも取り入れるべきでは。

市職員の意識改革について

花野 今回の災害後の復旧作業の際に、住民は休みの日にボランティアをしているのに、市職員は目の前の作業にも関わらず一切手伝わない。これはどうなのかと質問された。行政改革の中に含まれていたはずだが意識改革の指導はしていないのか。

危機管理監 仕事中はもとより自宅に帰宅した時一住民として奉仕の意識を持つように指導しています。